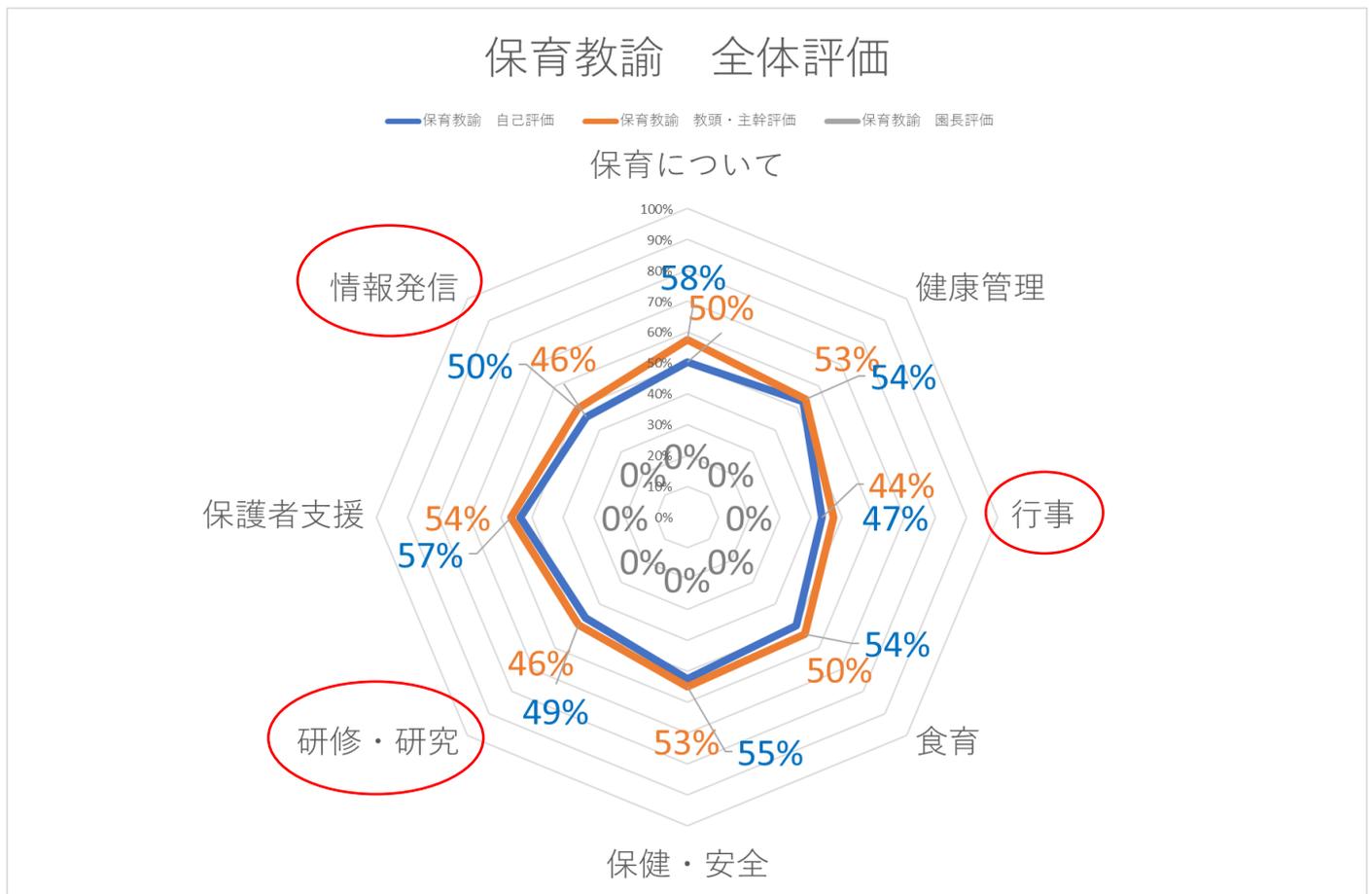


R 元年度 自己評価結果（保育教諭）



グラフからみえる課題

- 目に見える「室内環境」を整えて満足
- 行事のための保育内容
- 研修・研究での「学び」≠「保育実践」に繋がっていない

職員一人ひとりが「子どもの育ち」を読み取る力の向上が求められる



R2年度の目標を

- クラスの枠を外し子どもとおもいきり遊ぶ
- 子どもの発達に沿った環境を保育の中に取り入れる

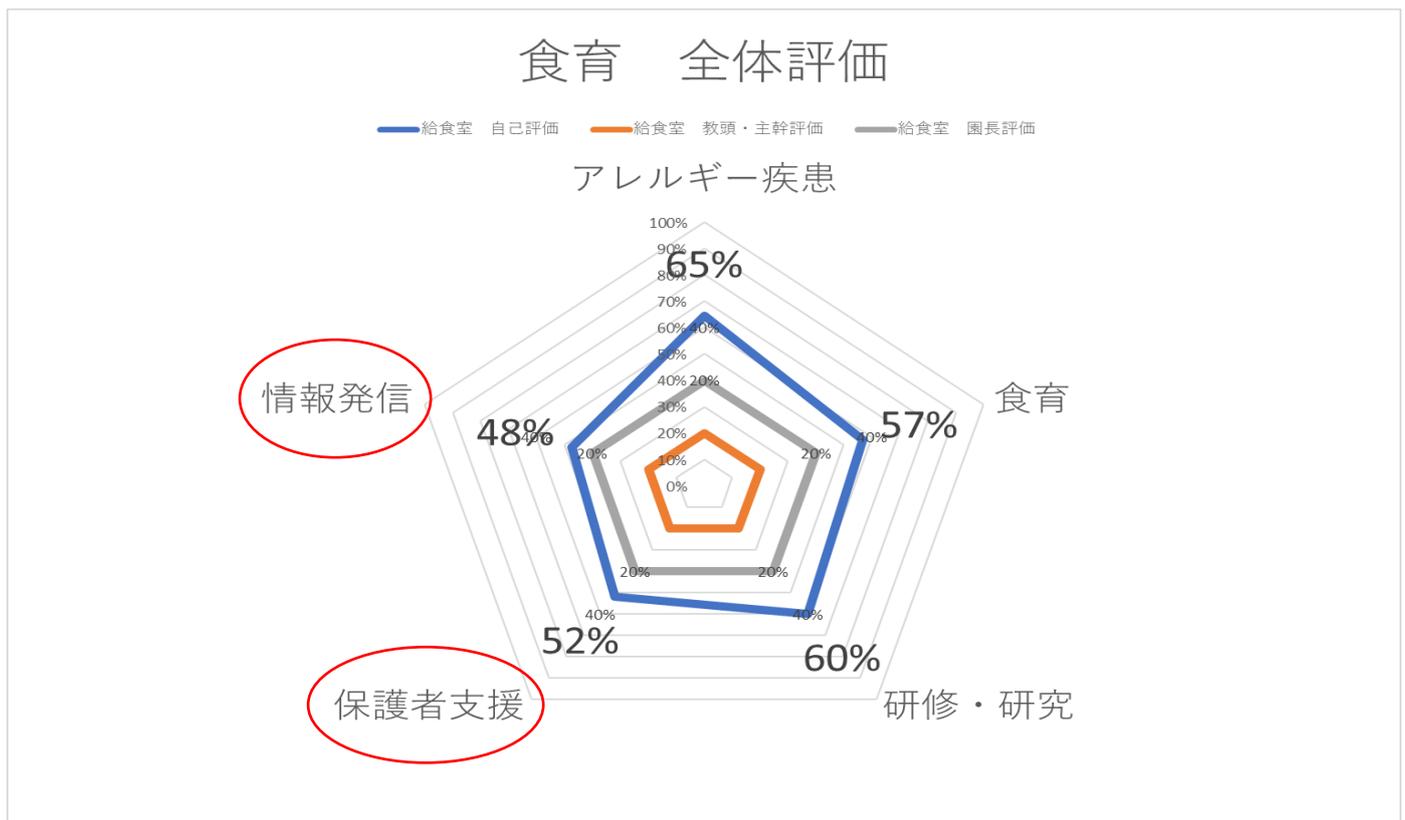
具体的取り組みとして

子どもと
遊びこむ

年齢別の勉強会と研究
保育の実施

保育に繋がる自己評価
の実施

R 元年度 自己評価結果（給食室関係）



グラフからみえる課題

- 園児や保護者との関わりが薄い
- 保育室（保育教諭）との連携が不足
- 給食室からの取り組み情報発信が少ない



R2年度の目標を「子どもが喜ぶ献立（給食）作り」とする

具体的取り組みとして

旬の食材を使
っての給食作
り

家庭と連携し
個々に合わせ
た離乳食作り

給食会議の
在り方を見
直す